

「あの日静岡で見た虹の架け橋」

Jリーグの素晴らしさを初体感した日、1999年5月5日。5万人超の国立が、スーパーゴールにより沸騰し感動しました。22年の松山生活から東京で就職して3年目、「愛媛にもJリーグがあればなあ」友人との夕食中、ふと思ったものです。

2001年、愛媛のチームが東京に来ると聞き、たまらず西が丘に行きました。数人のサポーター。何でもやる選手たち。自分が応援しているJ1のチームとの差を感じました。でも、これから作られる愛媛産のサッカーチームに興味を持ちました。

本気でJリーグに上がりたいと伝え聞いた

2005年、関東の試合には足しげく通いました。だけどあまり見応えのある試合は見られません。「本気なのか？」と疑いもしました。そんな中、ホームでホンダFCに後半ロスタイムで同点にされる試合を見ました。本当に悔しそうな選手たち、それを支えようと力

の限り声を張り上げるサポーターたち。娯楽
としてのスポーツをはるかに超えたものを感じ
ました。そして、思いました。自分も行動
しなければならない！と。出来るだけ関東で
の試合には応援に行くようになりました。仲
間も出来ました。愛媛の仲間、東京に来て初
めてでした。愛媛FCのおかげです。
半年後、ホンダFCのホームに200人以上の愛
媛県人が集結しました。誰も何も言わないけ
れど、心は一つでした。浜松都田の空に掛か
ったJへの虹の架け橋をみんなで見つめた瞬間、
誰彼構わずハグし、涙を流しました。自分の
知っているJリーグが、愛媛にも出来るん
だ、と。
今でも思います。あの時は200人だったけ
ど、今度の虹の架け橋は、もっともっとたく
さんの人と見たい。そして、たくさんの愛媛
県を愛する人たちを喜びを共有したい、と。
そう思いながらスタジアムに行っています。
松山市在住 36歳 男性